

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(グラフィックデザイン科 Webデザイナーコース)

科目 区分	授 業 科 目	実務教員 による授業	うちシラバス 添付	第1学年		第2学年		授業時間数合計	実務教員授業時数		うちシラバス添付授業時数	
				週間 授業 時数	年間 授業 時数	週間 授業 時数	年間 授業 時数		第1学年	第2学年	第1学年	第2学年
講 義 科 目	就職ガイダンス			2	54			54				
	担任課題			8	32			32				
演 習 ・ 実 技 科 目	基礎トレーニング			8	16			16				
	PCオペレーション(illustrator)	●		8	24			24	24			
	PCオペレーション(photoshop)	●		8	24			24	24			
	Webデザイン基礎	●		4	36			36	36			
	デザイン基礎講座			4	48			48				
								48				
	色彩演習	●	★	4	48			48	48		48	
	造形基礎	●		4	48			48	48			
	構成演習	●		4	48			48	48			
	DTP演習	●	★	4	36			36	36		36	
	企画発想	●		4	36			36	36			
	Webデザイン(制作・企画)	●		8	112			112	112			
	UIデザイン1	●		4	40			40	40			
	タイポグラフィ	●		4	68			68	68			
	フォトレタッチ	●		4	52			52	52			
	プロジェクトワーク	●		20	80			80	80			
	ポートフォリオ制作			8	32			32				
	広告・販売戦略	●		2	52			52	52			
	Webメディアデザイン	●	★			8	96	96		96		96
	Webコンテンツ基礎	●				4	48	48		48		
	HTML/CSS	●				4	96	96		96		
	UIデザイン2	●				4	48	48		48		
	プロトタイプ制作	●				4	48	48		48		
	フォトメディア	●				4	48	48		48		
	映像編集	●				4	48	48		48		
	卒業制作					20	380	380				
そ の 他	体育祭				10		10	20				
	東美祭				70		70	140				
	卒業制作展				10		40	50				
	健康診断				2		2	4				
	個人面談				4		2	6				
	2年次説明会				4			4				
	オリエンテーション				12		12	24				
	総授業時数				998		948	1,994	704	432	84	96

指導内容書

授業計画進行表（前期）

回数・日付	授業内容	回数・日付	授業内容
第1回 5/11,12	ポストカード制作 Adobe Illustratorの復習		
第2回 5/18,19	名刺制作① 文字組の基礎知識		
第3回 5/25,26	名刺制作② 印刷用のデータ作成		
第4回 6/1,2	名刺制作③ デザイン最終チェック・入稿 Photoshopの復習・応用		
第5回 6/8,9	レイアウト基礎① デザインを客観的に考え、再構成		
第6回 6/15,16	レイアウト基礎② 文字・写真・色の複合的な考え方		
第7回 6/22,23	レイアウト応用① ページレイアウトの仕組み		
第8回 6/29,6/30	レイアウト応用② ページレイアウトの構成		
第9回 7/6,7	レイアウト応用③ 最終批評		

授業形式	講義・ 演習 ・実験・実習実技
授業内容	Adobe Illustrator、Adobe Photoshopを使用した基本的な作業の復習から現場での作業を意識した応用的な技術、実践的なテクニックの習得、そして印刷入稿を行うことによって制作の流れを理解する。 【講師概要】株式会社フрамिंग・スタジオにて様々な雑誌の編集デザイナーの制作に関わり、その後独立。現在はフリーのデザイナーとして様々な雑誌のデザインを行っている。
到達目標	Adobe Illustrator、Photoshopを使って印刷会社へ渡す入稿データを作成できるようになる。
成績評価基準	学習内容、作品内容の他に、学習態度等を考慮して評価される。 評価項目：試験の評価、レポートの評価、出席状況、学習態度等を総合して評価される。 100～90点：A 89～80点：B 79～70点：C 69～60点：D 59点以下：不合格
提出課題	・ポストカード課題 ・名刺課題 ・レイアウト課題 学生の手持ち物、授業内で必要な材料など ノートPC、スケッチブック
補足	

授業計画進行表（前期）

回数・日付	授業内容	回数・日付	授業内容
第1回 4/15	- 色彩のはたらき・効果 - 色のしくみ(三属性・トーン) - 色とイメージの関連性 【演習課題①】トーンマップ	第10回 6/24	- 作品制作 - コメント記入方法
第2回 4/22	- カラー・イメージ・レニンング - パッケージのカラー分析 【演習課題②】パッケージのカラー分析	第11回 7/1	作品制作
第3回 5/6	- カラー分析発表(グループワーク) - 配色技法¹ 配色の基本(色相配色・トーン配色) 【演習課題③】配色ワーク	第12回 7/8	- プレゼンテーション(グループワーク) - 評価・分析・まとめ → 提出
第4回 5/13	配色技法2 統一(ドミナントなど) 【演習課題④】配色ワーク		
第5回 5/20	- 配色技法3 変化(アクセントなど) - 色彩理論¹ 定色・色名 【演習課題⑤】配色ワーク		
第6回 5/27	- 色彩理論² 対比・同化 - カラー・イメージ・スケール 【演習課題⑥】カラーワーク → 次回：中間確認(提出)		
第7回 6/3	代表的なイメージの特徴¹ 【作品①②】イメージ作品(ナチュラル)(カジュアル)		
第8回 6/10	代表的なイメージの特徴² 【作品③④】イメージ作品(クラシック)(モダン)		
第9回 6/17	代表的なイメージの特徴³ 【作品⑤⑥】イメージ作品(ロマンティック)(エレガント)		

授業形式	講義・演習・実験・実習実技
授業内容	色彩の基本知識とともに、配色表現やイメージ表現のテクニックを演習課題を通して身につける。 最終課題としてイメージ作品(全6種)を制作し、プレゼンテーション・相互評価・評価の分析も実施予定。 【1〜2回目】 色彩の働きや効果、色とイメージの関連性と色彩活用のための基本理論(三属性・トーン)。 デザインにおける色の役割や伝達手段として色を有効活用する意味や重要性を確認する。 イメージ・ワークをもとに色を選ぶワークやパッケージのカラー分析などの実習を実施予定。 【3〜6回目】 表現したいイメージや目的に応じたカラー・コーディネートを行うための配色と基本的な色彩理論。 配色のしくみによってカラーカードを使用し、配色効果を体験しながら色彩表現力を身につける。 イメージ・ワークを活用し、代表的なイメージ(6種)の色彩傾向・特徴を確認。 各イメージの作品を作成→最終回に提出。 ※着彩手段は任意(色鉛筆・PC・カラーカードなど自由) 【10〜12回目】 作品(最終課題制作)およびプレゼンテーション→評価・分析・まとめ。 作品①②③④⑤⑥のうち1種を最終課題とする。提出は全作品(6種)。 【講師概要】色彩活用研究所にて社会人、大学、専門学校などに向けて色彩検定をはじめとした資格に関する講義やセミナーを行いながら各種カラー・コンサルティングや教材・テキスト制作も行っている。
到達目標	グラフィックデザインを制作する上でターゲットに適切にコンセプト内容を視覚伝達するための色の選び方を演習を通してがら身に着ける。
成績評価基準	学習内容、作品内容の他に、学習態度等を考慮して評価される。 評価項目：試験の評価、レポートの評価、出席状況、学習態度等を総合して評価される。 80-90点：A 60-80点：B 70-70点：C 60-60点：D 59点以下：不合格
提出課題	■ 演習課題①②③④⑤⑥ → 各回の内容に応じて設定 ※中間確認=5/30以降実施 ■ 作品①②③④⑤⑥ → イメージ作品(6種) ※7/4(最終回)に提出 学生の持ち物、授業内で必要な材料など ■ 毎回 → 「カラー・コーディネーター入門 色彩」[Odor Exercise (色彩活用研究所テキスト)]「新配色カード199a」 「新配色カード199用演習台紙」(POCOSTーン別色相環) はさみ のり 配布プリント ※ピンクの袋に入っているカラーカードを貼る台紙(2枚入り) 通称:トーンマップ ■ 必要時に指示 → カラー分析に使用する商品パッケージ(演習課題②) 色鉛筆・PC・着彩ツールなど課題制作に必要なもの 補足

[illegible]